

## 議会制度との関係性からみる、住民投票の意義

### 地方自治制度は 間接民主制が基礎

市政への住民の意思の反映については、  
選挙で選ばれた議会や市長が中心的役割を担う

しかし、時には…

- ◆一つ一つの政策については、議会や市長と意見を異にする場合がある。
- ◆選挙の時には争点になっていなかった重大な問題が起こることがある。



**住民投票：多くの住民の意思を直接、議会や市長に届けるための方法の一つ**

多くの市民と情報を共有し、まちづくりへの参加、協働を働きかけ解決  
できるかどうか、が重要。住民投票は最終手段である。

### 住民投票をするためには

住民の代表である議会や市長が、  
市政の重要な事項について決定す  
る上で 住民の意思を直接確認す  
る必要が生じたとき

市長や議会が発議

例) ★鳥取市庁舎整備について  
(鳥取市)  
個別設置型・議員提案  
★米空母艦載機移駐案受け入れ  
(山口県岩国市)  
常設設置型・首長提案

住民自身が自らの意思を表明す  
ることにより、議会や市長の決定に  
住民の意思を反映させようとする  
とき

市民が請求

例) ★市議会議員の定数について  
(山口県山陽小野田市)  
常設設置型・住民提案  
★交流センターの建設について  
(千葉県四街道市)  
個別設定型・直接請求

## 住民投票

結果は「決定事項」ではなく、議会や市長は  
結果を尊重するものの、自らの判断で意思決定する

地方自治の基本である、間接民主制を補完する  
重要な政策の決定や実施に関わる議論を活性化する